

令和元年度 第48回緑陵祭 開祭式 校長挨拶

みなさん、おはようございます。

みなさんのこれまでの努力により、「緑陵祭」が本日、無事開催されることを共に喜び合いたいと思います。

緑陵祭実行委員長 ○○ ○ 君、生徒会長 ○○ ○○ 君をはじめ全校生徒が、先生方の支援を仰ぎ、夏休み前から本日に至るまで大変熱心に計画、準備に取り組んでくれました。本当にご苦労様です。

本校の、文化祭のポスターとパンフレットの出来映えは、見事なものです。

私は、200校を超える都立高等学校の中でもトップクラスであると思っています。

1年 6組 ○○ ○○ 君
○○ ○○ さん
○○ ○○ さん
2年 8組 ○○ ○○ さん

いい思い出ができましたね。

今回、残念ながら採用されなかった作品も拝見しました。どれもハイレベルの力作ばかりで、是非、どこかで展示できたらと思いました。

昨日、安全点検を兼ねて、各企画のブースを見て回りました。

どのクラスや、団体も、とても手の込んだ装飾や、アイデア、オリジナリティ溢れる出来映えに感心しました。

芸術的なチョーク・アート、段ボールを一枚一枚切り取り、レンガに見立てて壁一面に貼り付けた装飾…。ジェットコースターにも実際に試乗させてもらいました。とても、スリリングで楽しかったです。

また、Tシャツや手がペンキだらけで作業に忙しい中、楽しそうに、生き生きと企画の案内をしてくれた生徒もいました。ありがとう。

遅くまで残って疲れているのに、皆、明るく、充実した表情で作業に取り組んでいることがとても印象に残りました。

映画制作に取り組んでいるクラスも大変でしたね！昨晩は自宅で編集に取り組み、寝不足ではないですか。本当にご苦労様です。社会人になって「僕は、高校時代に自主制作の映画を上映したんだ。とっても苦労したけど、楽しかったな。」なんて語れる大人って素敵じゃないですか。

みなさん、今日はそんな地道な努力が試される日です。

私は、前日準備の生徒諸君のひたむきな様子に触れ「府中東魂」の一端を見た思いがしました。

私自身、「緑陵祭」に向けた期待感が益々高まっています。

文化祭で一番大切なことは、行事を通して各クラスや団体が、成長することです。

行事が終わった後、クラスの一人ひとりの絆、友情が一層深まることです。私は昨日の安全点検で実際に各ブースを視察し、生徒諸君が、当日に向けて友達と協力して仕上げに没頭している姿と、各企画担当生徒から丁寧な説明を受けて、その団結力は、期待から確信に変わりました。

どの企画も、多くの友達の心意気と、協力がなければ完成しない企画ばかりです。

結びに一つ、「緑陵祭」を通して「おもてなしの心」を学んでください。来場された方々に対して、笑顔や挨拶を忘れずに、明るく爽やかに接し、歓迎することです。

生徒諸君、君たち一人ひとりが都立府中東高等学校の代表であることを自覚することが求められます。そして、来場された方々に喜んで頂くことが、自分たちの達成感、喜びに繋がることを学んでほしいと思います。

また、人に奉仕することの難しさや大切さ、友達と協力して一つのことを成し遂げる達成感を味わってほしいと思います。

自分たちだけで楽しみ、満足しているレベルを超えて、高校生活の大切な思い出に残る「緑陵祭」にしましょう。

地域の皆さんや中学生、保護者、他校の同級生など、来校されるお客様に対して、笑顔と心配りの心でおもてなしをして、文武両道で発展している都立府中東高等学校の今を文化の香り高く演出すると共に、心に残り、テーマ「凡喜♡麗和～ Change THE ERA～」に迫る「緑陵祭」になることを願い、開祭式の挨拶とします。

令和元年 9月7日（土）

都立府中東高等学校長

古閑 伸幸

【「緑陵祭」初日】



美術部の展示

ポスター・パンフレット採用作品の原画展示



生物部の展示